当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）の検出について

当院において 2 名の患者さんから「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）」
が検出されました。現在の状況および当院の対応について、以下の通りご報告いたします。

1. 経緯および現状

2026 年 10 月、入院中の患者さん 1 名から CRE が検出されました。これを受け、現場状況の把握と感染対策の強化を図る中、別の患者さん 1 名からも同じ細菌が検出されました。

2. 当院の対応

本件については判明後、速やかに現場状況の把握と感染対策の強化を図りました。あわせて、管轄の保健所へも速やかに報告いたしました。現在は保健所の助言をいただきながら、以下の対策を講じております。

- 該当エリアにおける感染管理体制の強化と消毒の徹底
- 職員による接触予防策の再確認と遵守
- 継続的なモニタリング検査の実施

3. 皆様へのお願い

ヒトの腸内には一般的に大腸菌など複数の腸内細菌が存在します。CRE は本来効くはずのカルバペネム系抗生物質に対して耐性を持ってしまった腸内細菌のことです。CRE は病原性は弱いので健常な方の体内に存在しても病気を起こすことはありませんが、抵抗力が低下した方には感染し発病することがあるため、当院では外来診療および入院診療については、十分な感染対策を講じた上で、通常通り継続しております。

患者さんやご家族、地域の皆様にはご心配をおかけいたしますが、一日も早い事態の終息に向け、病院を挙げて取り組んでまいります。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 11 月 11 日

福岡記念病院 病院長　古市　将司
（本件担当：福岡記念病院 感染制御部）